

大阪府立芥川高等学校 令和8年度第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立芥川高等学校
(准)校長名	坂下 秀一郎

開催日時	令和8年6月17日(水)
開催場所	府立芥川高等学校 2階会議室
出席者(委員)	関根会長、薙野委員、渡邊委員 小橋委員(吉田委員 濱崎委員欠席)
出席者(学校)	校長 坂下、教頭 高木、事務長 関戸、首席 渡邊、首席 前田、書記 藤澤、中尾
協議資料	・令和8年度学校経営計画 ・学校の様子(写真) ・昨年度卒業学年入試結果集計 ・現3年生進路希望調査 ・令和8年度進路指導計画 ・授業アンケート設問
備考	

議題等(次第順)

- 学校の様子について
- 令和8年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みについて
- 進路状況報告、進路指導の取り組みについて
- 授業アンケート設問について
- その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 学校経営計画および学校の現状について
 ・募集状況と魅力化: 府立高校全体で定員割れが深刻化する中、本校も8クラスから7クラスへ減らしたものの定員割れの状況にある。魅力ある学校づくりが急務。
- ・交通安全: 自転車通学者が多いため、大蔵司橋周辺の通行ルールについて、警察や近隣校と調整しながら外部機関を活用した交通安全教室を検討している。
- ・学力向上: 入学時の生徒の基礎学力低下を背景に、一般入試への挑戦を促すため、土曜勉強会や平日放課後の勉強会を実施している。委員からは、中学校側も学力に自身の無い生徒が高校の授業についていけるか心配しており、こうした手厚い支援の継続を望む声があった。
- ・広報活動(SNS): InstagramなどのSNSを活用した情報発信に注力しており、中学生が志望校を選ぶ際の重要な判断材料となっている現状が報告された。
- (2) 進路指導について
 ・45期生(現3年生)進路希望: 看護系を希望する生徒が減少する一方、保育・教育系や理学療法系が増加している。委員からは看護系の減少は全国的傾向であり、公立大学などが狙い目であるとの助言があった。
- ・44期生(昨年度卒業生)入試結果: Web出願の普及により1人あたりの出願数が増え、延べ合格数は増加しているが、ボリュームゾーンとされる大学(追手門、摂南など)の合格は厳しくなっている。
- ・実績の集計方法: 昨今では出願形式の変化(一度に複数の出願が可能)があり、合格者の延べ人数が大幅に増加傾向にある。過去との比較を纯粹に行うために、延べ人数だけでなく「実人数」で集計する学校も増えてきている。
- (3) 授業アンケートについて
 ・実施計画: 年2回(7月と12月)実施予定で、設問項目は昨年度から変更なし。
- ・改善への活用: 教科によっては授業内でアンケートを実施し、結果を次の授業で生徒にシェアし、授業改善を行っている。また、委員からはICTの効果的な活用に関する設問追加の提案もありました。

次回

日時	令和8年11月中旬予定
会場	府立芥川高等学校 2階 会議室